

2016年度の「林業遺産」に8件が選定されました！

「林業遺産」は、日本森林学会によって平成25年度から開始された、日本各地の林業発展の歴史を将来にわたって記憶・記録していくための試みです。

4年目となった昨年度は、全国から14件の応募があり、その内の8件が「林業遺産」として選定され、登録された林業遺産は全23件に達しました。今回新たに選定された林業遺産には国有林に関する資料や施設なども多く含まれています。

日本森林学会では、今年度以降も選定事業を継続していくこととし、各地からの積極的な応募推薦を受け付けています。

情報誌「林野」でも、引き続き定期的に各遺産についてご紹介してまいります。

「林業遺産」についての詳細情報は、日本森林学会のホームページをご参照ください。

<https://www.forestry.jp/activity/forestrylegacy/>



小石原の行者杉



屋久島の林業集落跡及び森林軌道跡



吉野林業（追加選定）



初代保護林 白髪山天然ヒノキ
林木遺伝資源保存林



蒸気機関車「雨宮 21号」と
武利意・上丸瀬布森林鉄道遺構群



足尾における治山事業による緑の復元



木曾式伐木運材図会



伊豆半島の森林史に関する資料

1	伊豆半島の森林史に関する資料	昭和30年代	静岡県伊豆市牧之郷	400年にわたる伊豆地方の森林に関する制度や政策の歴史をまとめた概説およびその収集史料。
2	小石原の行者杉	昭和63年	福岡県朝倉郡東峰村	英彦山での峰入修行の際に小石原の地に修験者が奉納植栽したスギの巨木群。
3	屋久島の林業集落跡及び森林軌道跡	大正後期	鹿児島県熊毛郡屋久島町	島内の林業生産の拠点となった林業集落跡地や現在も一部活用されている森林軌道群。
4	蒸気機関車「雨宮21号」と武利意・上丸瀬布森林鉄道遺構群	昭和3年	北海道紋別郡遠軽町丸瀬布	武利意森林鉄道の軌道敷を利用して定期的に運行する、国内で唯一動態保存された森林鉄道蒸気機関車「雨宮21号」。
5	初代保護林 白髪山天然ヒノキ林木遺伝資源保存林	大正4年	高知県長岡郡本山町	大正4年に発足した保護林制度に基づき学術参考保護林に指定された天然ヒノキ林。
6	木曾式伐木運材図会	明治時代前期（推定）	長野県長野市	江戸時代後期頃の木曾地方や飛騨地方で行われていた伐木・運材の技術について、美麗な絵図と詞書で解説する絵巻物。
7	足尾における治山事業による緑の復元	明治初期	栃木県日光市足尾町赤倉ほか	足尾銅山周辺の荒廃した森林を、長年にわたる治山事業により回復させた。
8	吉野林業（追加選定）	昭和14年	搬出関連: 奈良県吉野郡吉野町橋屋、丹治、飯貝および上市地区 建造物: 奈良県吉野郡吉野町上市地区	吉野材の集散基地を形成し、地位を築き上げた貯木場とそのシンボルである洋風建築事務所。